

HIV とドラッグ使用の関係性- 物質乱用、パート 1



HIV 感染の拡大において、ドラッグの使用はひとつの大きな原因となっています。たとえば、米国では毎年、ドラッグの注射による HIV 感染ケースが全体の 10%に達しています。

ドラッグを注射している場合、ドラッグを調合したり注射したりするための器具、いわゆる「道具」を HIV 感染者と共有することで、HIV に感染します。

こうして、あなたと、ドラッグを一緒に使用する人、あなたの性的パートナーとの間で HIV が感染していきます。薬物の摂取は HIV 感染リスクを高めるだけでなく、その他の STD（性感染症）に感染するリスクも高めます。

ドラッグによる高揚感、安全な選択をする能力に悪影響を及ぼし、リスクの高い行動をとる可能性を高めます。リスクとは、コンドームを使用しない、または複数の相手と性行為をするなどです。

ドラッグやお金のための性行為もまた、HIV に感染する可能性を高めます。ドラッグを使用している場合、HIV 感染リスクは高くなるため検査を受けるべきです。



既に HIV に感染している場合、ドラッグの摂取による免疫システムへの影響で、HIV 感染状態が悪化します。

また、ドラッグの摂取は、あなたの**治療アドヒアランス**（毎日適切に薬を服用すること）に悪影響を及ぼします。ドラッグで高揚している間は、薬を時間通りに服用することを忘れてたり、まったく服用しなくなる場合もあります。



HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。

Text is from HIV/AIDS sources from the Department of Health and Human Services and adapted by HealthReach and Healthy Roads Media. This project has been funded in whole or in part with Federal funds by the National Library of Medicine award number HHSN2762015000111 awarded to the Center for Public Service Communications. Images from iStock.com.